

発言No.

7

受付No.

7

令和3年2月15日

9時45分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 16 番

氏名 永見 利久

答弁を求める者 (○をつける) 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 上水道凍結被害の対応と対策について

(1) 凍結被害対応について

- ① 全市の被害状況について伺う。
- ② 金城自治区、波佐水系、黒川水系の被害について伺う。
- ③ 凍結被害発生時の対応について伺う。
- ④ 今福中央配水池の容量 376 トン、そして、久佐 48 トン、美又の配水池の容量約 250 トンを加えた総容量 674 トンあり、各家庭の時間当たり使用量の合計は 22 トンとの説明を伺った。この容量だと、送水が無ければ、30 時間でタンクは空になるが、黒川水源地より常時送水されている。給水制限を行わなければならなかった、状況を伺う。
- ⑤ 給水制限の情報提供について伺う。

(2) 凍結被害対策について

- ① 今回のような被害が、平成 28 年 1 月の断水、平成 30 年 2 月今福地区、久佐地区給水制限、今回の給水制限と、5 年間で 3 回発生した。平成 28 年の凍結断水が発生した以後、どのような対策を行っているのか伺う。
- ② 平成 28 年の寒波は、今回の寒波よりも大変厳しい寒波であった。給水制限に至った状況の調査、検証すべきと考えるが、市としての今後の対策を伺う。

2 公共交通について

(1) 地域公共交通について

- ① 浜田市が考える公共交通について伺う。
- ② 公共交通におけるタクシーの意義について伺う。

(2) 生活路線バス及び予約型乗合タクシーについて

- ① 運行業者はどの様にして決定されているのか伺う。
- ② 過疎地域の公共交通の手段として、生活路線バス及び予約型乗合タクシー以外の方法について伺う。